

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年7月2日 (2015.7.2)

【公開番号】特開2014-12128(P2014-12128A)

【公開日】平成26年1月23日 (2014.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2014-004

【出願番号】特願2013-116678(P2013-116678)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 0 4 B

A 6 3 F 7/02 3 3 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月10日 (2015.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うための価値を記憶した記憶媒体の情報の読取りおよび書込みなどの情報処理を行う情報処理装置と通信可能に構成されており、発射装置により遊技盤に発射された遊技球を回収し、回収した遊技球を前記発射装置により再度発射することで、内部に封入された所定数の遊技球を循環的に使用して遊技を行う封入式遊技機であって、

遊技の進行を制御する主制御装置と、

遊技の進行に応じて演出図柄を表示する演出図柄表示装置と、

該演出図柄表示装置を制御する演出図柄制御装置と、

前記情報処理装置から遊技に用いることができる遊技球の持ち球数の情報を受け、該持ち球数の情報に基づいて前記発射装置を制御する副制御装置と、を備えた封入式遊技機において、

該副制御装置には、前記持ち球数情報を少なくとも遊技開始時に前記主制御装置に送信する持ち球数情報送信手段と、

前記主制御装置には、前記受信した持ち球数情報から入賞口に入賞した入賞数及び入賞口に入賞しなかったアウト数を減算すると共に入賞による賞球数を加算する第 1 の持ち球数算出手段と、該賞球数を前記副制御装置に送信する賞球数送信手段と、

前記副制御装置には、前記持ち球数情報に前記受信した賞球数を加算し、前記発射装置により発射される発射球数を減算する第 2 の持ち球数算出手段と、

を備えたことを特徴とする封入式遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

ところで、従来の封入式パチンコ機は、遊技の進行に関する制御を行う主制御装置と、貸出しや遊技球の発射および賞球の管理を行う副制御装置とを備え、該副制御装置により

持ち球数の算出、表示制御が行われる。持ち球数の表示は、遊技盤の遊技領域よりも下方位置で発射ハンドル付近に設けられた貸出しの要求および遊技終了時の精算の要求操作を行う操作部で表示される。

しかしながら、通常、遊技者は遊技盤の遊技領域を注目しており、持ち球数を確認するためには遊技領域よりも下方へ視線をずらさなければならない。特に近年のパチンコ機では遊技領域に大型の演出図柄表示装置が設けられ趣向を凝らした演出表示がなされるので、持ち球数の確認のために視線をずらすことにより演出表示を見逃すなど、楽しみが半減するおそれがある。

また貸出しや遊技球の発射および賞球の管理を行う前記副制御装置と前記演出図柄表示装置とは直接、電氣的に信号等のやり取りを行うように接続されておらず、副制御装置の制御により演出図柄表示装置で持ち球数表示を行うことは制御効率がよくない。

そこで、本発明は上記事情に鑑み、制御効率よく持ち球数を遊技領域の表示装置に表示することが可能となるよう、持ち球数を算出することを課題としてなされたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1に記載の発明は、

遊技を行うための価値を記憶した記憶媒体の情報の読取りおよび書込みなどの情報処理を行う情報処理装置と通信可能に構成されており、発射装置により遊技盤に発射された遊技球を回収し、回収した遊技球を前記発射装置により再度発射することで、内部に封入された所定数の遊技球を循環的に使用して遊技を行う封入式遊技機であって、

遊技の進行を制御する主制御装置と、

遊技の進行に応じて演出図柄を表示する演出図柄表示装置と、

該演出図柄表示装置を制御する演出図柄制御装置と、

前記情報処理装置から遊技に用いることができる遊技球の持ち球数の情報を受け、該持ち球数の情報に基づいて前記発射装置を制御する副制御装置と、を備えた封入式遊技機において、

該副制御装置には、前記持ち球数情報を少なくとも遊技開始時に前記主制御装置に送信する持ち球数情報送信手段と、

前記主制御装置には、前記受信した持ち球数情報から入賞口に入賞した入賞数及び入賞口に入賞しなかったアウト数を減算すると共に入賞による賞球数を加算する第1の持ち球数算出手段と、該賞球数を前記副制御装置に送信する賞球数送信手段と、

前記副制御装置には、前記持ち球数情報に前記受信した賞球数を加算し、前記発射装置により発射される発射球数を減算する第2の持ち球数算出手段と、

を備えたことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

これによれば、主制御装置および副制御装置により個別に持ち球数を算出するようになり、従来の問題であった主制御装置と副制御装置間で持ち球数情報に関する頻繁な通信処理を必要とせず、制御処理負担が軽く済む。

この結果、容易に主制御装置で算出した情報に基づき演出図柄表示装置で持ち球数を表示することが可能となる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0008
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0011
【補正方法】削除
【補正の内容】